



シルバー 京田辺

<第63号>

発行日
2024年(令和6年)1月1日

発行所
社京田辺市シルバー人材センター
発行責任者
理事長 竹村 三津雄

京都府京田辺市河原食田10番地23
TEL 0774-64-8822
FAX 0774-68-2346

[https://
webc.sjc.ne.jp/
kyotanabe/index](https://webc.sjc.ne.jp/kyotanabe/index)

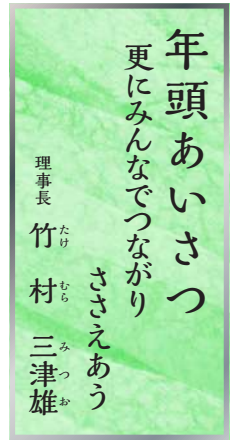


シルバークフェスタ 2023

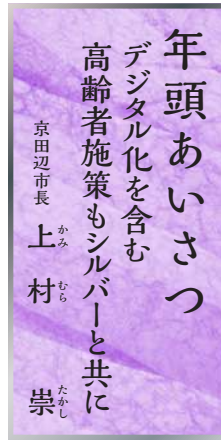
更なる飛躍を目指し

みんなで つながり ささえあう

確認は無駄と思うな! 必須事項! (赤畑 勲三)



新年あけましておめでとうございます。
皆様方には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお健やかに迎えること



新年あけましておめでとうございます。
京田辺市シルバー人材センター会員の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。
今日まで京田辺の発展に向けて様々な形でご支援とご協力いただいている会員の皆様に深い敬意を表す

とお慶び申し上げます。
平素は当センターの事業活動に、特段のご協力、ご支援を賜わり誠にありがとうございます。

さて現在の我が国の社会情勢は、少子高齢化の進展による労働力人口の減少や、企業の雇用延長、高齢者の就業ニーズの変化など働く環境が大きく変化してきました。

この様な中、当センターも「自主・自立・共働・共助」という基本理念を踏まえ、「新しいステージへみんなでつながり ささえあう」をスローガンに掲げ、会員の皆さんが生涯現役を目標に「働く・学ぶ・遊ぶ・参画する」を進める居場所作りの取り組みを進めております。また、少子高齢化が急速に進む今

るとともに、厚く御礼申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、それまで制限されていた私たちの生活も、少しずつ日常を取り戻していると感じられることを、とても喜ばしく思っております。

さて、本市では、子育て世代を中心に人口増加を続ける一方で、高齢者の人数も年々増加しており、これから一層、高齢者福祉施策の充実が求められているところです。

昨年度から貴センターにご協力をいただき実施しております「高齢者向けスマホ講習会」は、デジタルの活用による不安を抱く高齢者にもっと気軽にスマホの使い方を学んでいただき、安全で便利な生活が送れることを目指しておりますが、今年度はさらに事業を拡大し、市の高齢者施設での講習会の他、依頼があれば各地域まで出張し講座を開く「出張スマホ教室」を開催し、市民の皆様から

日において、高齢者が多様な形で社会参加することが求められています。活力ある高齢社会を支える地域の核となる組織として、シルバー人材センターの担う役割は、一層重要なものとなっております。

当センターは今後も社会情勢の変化に柔軟に対応し、地域に根ざした魅力あるセンターとして、より積極的な事業運営を、会員及び役員が一丸となって推進して参りたいと考えております。

皆様方には一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

本年が皆様にとって平和で穏やかな年になりますよう、また、ご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

好評をいただいているところです。

このように、本市の高齢者施策の推進にあたり、貴センター及び会員の皆様のお力は欠くことのできないものとなっております。今後、世代を超えた支え合いの担い手として、また、地域の皆様に喜んでいただけるサービス事業者として、これまで培ってこられた知識や経験を存分に発揮していただき、ご活躍していただけることを期待しております。

本市としましては、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指して取り組んでまいりますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、京田辺市シルバー人材センターのますますのご発展と新しい年が会員の皆様にとりまして、幸多き年となりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。



～みんなで つながり ささえあう～

互助会活動 みんなで楽しむシルバーに

当センターでは、今年度「みんなで つながり ささえあう」をスローガンに掲げ、就業以外のシルバーの楽しめるイベントを沢山企画しました。

卓球を楽しむ日 (延べ 52人参加)

毎月第2水曜日・午後1時30分～

初心者からハイレベルな方まで、楽しく活動中。中央体育館でのミニ大会も実施しました。



映画を楽しむ日 (延べ 131人参加)

毎月第3水曜日・午後1時30分～

今どきの俳優さんにキュンとしたり、感動超大作に心を打たれたり、楽しく笑ったり。

色んなジャンルの映画をちょっとしたおやつと共に、ゆったりとした雰囲気を楽しんでいます。



グラウンドゴルフ (延べ 26人参加)

一休グラウンドゴルフクラブにて、9月22日(金)第1回目を開催。最高のロケーションで、ホールインワンが出ると大歓声！初心者の方も気軽に参加して欲しいという想いから、11月20日に2回目を実施しました。



歌声のつどい (46人参加)

同好会活動として、音楽サークルの皆さんの演奏に合わせて歌う「歌声のつどい」を10月23日(月)に実施しました。全17曲を大きな声で歌った後は、サプライズで「昴」の大合唱で盛り上がり終了しました。



夫婦会員大集合!!

令和5年11月22日（水）「いい夫婦の日」に因んで、当センターにご夫婦で入会されている方を対象とした懇談会を開催いたしました。

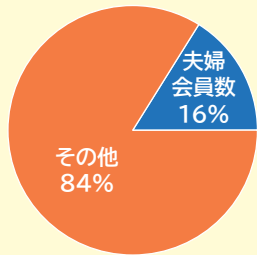
当日出席いただいたのは、42組中7組の夫婦会員の方々。

お互いのことを良く知っていることを前提に『仲良し度チェッククイズ』を行うと共に、和気あいあいとした雰囲気の中、懇談をいたしました。

令和2年度から、夫婦で入会すると会費を半額にする「夫婦会員等半額制度」を実施しています。これを機会に、まだ未入会のご主人、奥様がいらつしやいましたら、ぜひシルバー人材センターと一緒に入会して、ますます楽しい人生を過ごしてみませんか？



全会員数のうち夫婦会員の割合



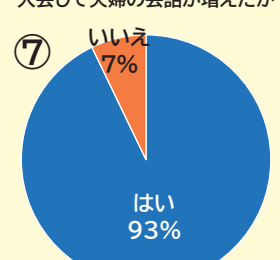
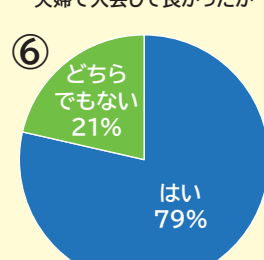
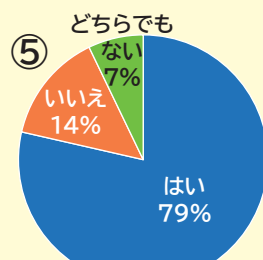
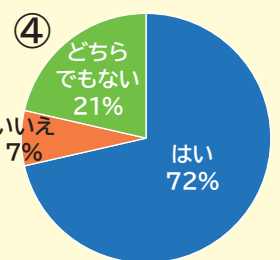
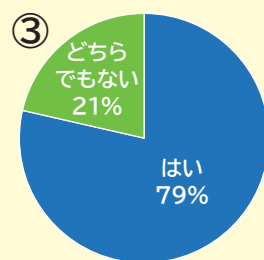
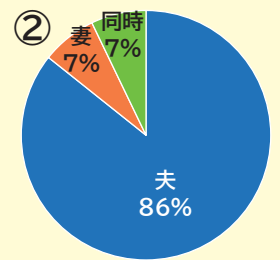
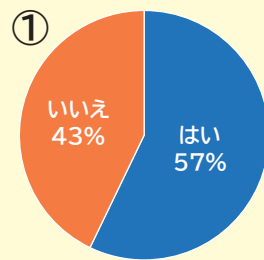
全会員数 522
夫婦会員数 84
夫婦会員割合 16%

夫婦会員懇談会 アンケート結果

	男性	女性	どちらでもない
① 「夫婦会員等会費半額制度」を知って入会されましたか？	8	6	-
② シルバー人材センターに先に入会されていたのは	夫	妻	同時
	12	1	1
③ ご夫婦で入会されて、よかったですか？	はい	いいえ	どちらでもない
	11	-	3
④ シルバー人材センターに入会して、夫婦間の会話が増えましたか？	はい	いいえ	どちらでもない
	10	1	3
⑤ 友人や知人にシルバー人材センターの事をお話しされることはありますか？	はい	いいえ	どちらでもない
	11	2	1
⑥ 夫婦で入会されていて、メリット（良い点）があると思いますか？	はい	いいえ	どちらでもない
	11	-	3
⑦ 今後も夫婦仲良く、いつまでもシルバー人材センターに登録したいですか？	はい	いいえ	どちらでもない
	13	1	-

【その他 自由記述】

・時代の流れて今日元気で過ごすことが出来て、また人の為に少しでもお役に立てていると思うとこれからも元気な間は頑張りたいと思います。



～食べて飲んでおしゃべりして～

会員親睦会で大盛り上がり

昨年、初めて開催した「会員親睦会」。今年も是非、開催して欲しいという多くの声にお応えし、去る12月1日に開催しました。同じ仕事をしている仲間同士での参加はもちろん、ひとりでご参加いただいた方も、和気あいあいとした雰囲気の中、シルバーにちなんだクイズも取り入れ大盛り上がり。沢山食べて、飲んで、おしゃべりも盛り上がり、楽しい時間となりました。（参加者58名）



普及啓発活動

会員作品展示

会員の皆さんの趣味や特技を活かしての多彩な作品の展示を今年度、2か所で実施しました。

文化フェスティバル

11月5日(土)に開催された「文化フェスティバル」にて、写真・絵画・手工芸品等、9名2団体56点の作品を展示しました。会場内で開催されていたワークショップに参加されていた皆さんにも、センターの就業以外の一面をアピールすることができました。



ギャラリーかなび

初の試みとして、市立中央図書館内のギャラリー「かなび」での作品展を11月21日(火)から26日(日)(23日及び24日は休館日)の4日間にわたり開催しました。図書館内という立地もあり、多くの市民の方に立ち寄っていただくことができ、会員の皆さんも自らの作品への思い等を、熱く語ってられました。

12名1団体51点の作品を出展いただきました。



シルバーサロン「きてきて」

センターの普及啓発活動として、会員主体で実施しているシルバーサロン「きてきて」。今年度はSDGsの取り組みに繋がる内容で実施しています。また、コロナが落ち着いたことにより、市民の皆さんに、シルバー事業をより知っていただく機会を設け、身近に感じていただくと共に就業機会の確保や新たな仲間(会員)づくりに繋げるための交流イベントを実施しました。

ぐるり お譲り交換会

「あなたの不要なモノが、だれかの必要なモノになる」をモットーに行う物々交換イベントとして、『ぐるり お譲り交換会』を8月29日(火)に開催しました。

1点持参したら1点持ち帰るという簡単なルールですが、初めての試みだったため、ご持参いただくモノを衣料品に限定しました。

企画段階では、古着や人の手にわたったモノを着用することへのマイナスイメージや「断捨離をしたいから、モノを持参しても持ち帰りたくない」という意見もありましたが、いざ、開催してみると、特に男性を中心に「ぐるり」の名前のとおり、会場で新たなモノとの出会いがあり、持参した方の思い出や気持ちのバトンが繋がるイベントとなりました。

また、シルバー世代ではない方にもお越しいただくこともでき、会員の皆さんの活動がSDGsに繋がる自信となった気がします。



シルバーフェスタ

今年度の当センターのスローガン「みんなで つながり ささえあう」をテーマに、当センターの活動を会員の皆さんはもちろん、市民の皆さんにもしっかりとPRしていく参加型イベントとして、12月9日(土)に『シルバーフェスタ』を初開催しました。

会員の皆さんの意見等を基に、今年度2回目の「ぐるり お譲り交換会」を終日実施し、会員さんの作った野菜類の販売や豚汁とおにぎりの提供、映画上映会も開催し、10時から16時まで、来られた方が1日楽しめるような内容としました。

サークル・同好会のPRの場として、楽器演奏やスマホ相談会等も実施すると共に、サークルの活動内容やメンバー募集等について写真等を活用し、掲示案内しました。また、絵手紙講座の体験会も実施し、PRに努めました。

コロナ以降、久しぶりの対外的な大きなイベントとなりましたが、企画段階から主体である会員さんが楽しく準備を進めることが出来ました。当日は市長にもお越し頂き、大盛り上がりの1日となりました。



季節の野菜いかがですか

当センターは毎月第3水曜日に、事務所前特設テントにて、「野菜販売」を始めました。昨年度、会員向けアンケートを実施したところ、趣味や余暇の過ごし方として家庭菜園を挙げる方が多いことが解りました。

業務部会でも検討し、会員の皆さんが丹精込めて栽培した野菜類を定期的に販売することを始めました。新鮮野菜等が安価で購入できるとあって、□□ミ等により徐々にお客さんも増えていきます。名称も『ecoマルシェ』に決定し、今後さらに拡大していく予定です。



一人ひとりの人権意識を高めよう

出前講座活用による人権研修

シルバー人材センター事業は、会員をはじめ発注者や多くの市民の皆様と関わりあって成り立っています。当然のことですが会員、役職員一人ひとりが個々の人権を尊重し、就業マナーや安全に配慮して作業を進める必要があります。

今年度は市の出前講座を活用し出前講座を開催し『気づいて感じて 考えよう「じんけん」』をテーマとした人権に関する知識を深める取り組みを行いました。

また、高齢者の身近な問題にかかるテーマで全3回、出前講座を実施しました。



講座名	開催日時	担当課	参加者数
高齢者をねらう悪徳商法	7月13日(木)	産業振興課 消費生活センター	13名
生活習慣病予防からはじめる健康づくり心の健康づくり	9月12日(火)	健康推進課	12名
健康保険と高齢者医療制度について	11月9日(木)	国保医療課	18名
気づいて 感じて 考えよう 「じんけん」	12月13日(水)	人権啓発課	17名

出前講座開催経過

今年度は市の出前講座を活用し出前講座を開催し『気づいて感じて 考えよう「じんけん」』をテーマとした人権に関する知識を深める取り組みを行いました。また、高齢者の身近な問題にかかるテーマで全3回、出前講座を実施しました。



絵手紙講座 受講者募集中!

各地区で開催されている『地域懇談会』にも是非、ご出席いただき、連携を取りながら、みんなでセンターを盛り上げていきましょう。

地域班組織の取り組み

輪番制で活動中

一人ひとりの意識を高め「安全就業」へ!



令和5年度も業務部会では「賠償事故ゼロ・傷害事故ゼロ」を目指し取組を進めていますが、残念ながら事故が発生してしまいました。今一度、一人ひとりが自分の行動に留意し、意識を高めていきましょ。また、事故や怪我だけでなく、健康面にもご留意いただき各種作業に当たってください。

安全パトロール強化実施中

業務部会での重要な活動として、毎月1回定期的な安全パトロールを実施し、就業現場の巡回チェックを行っています。

日々の就業でついつい慣れて作業を進めていたり、見落としがちな点もあり、パトロールの際は細かいチェックポイントに基づき、チェックを行っています。会員一人ひとりが気をひきしめ、作業に当たりましょ。



令和5年安全パトロール実施経過 (11月末時点)

実施月	実施現場・職域
4月	清掃作業(北部住民センター・中部住民センター)・軽作業(甘南備園)
5月	軽作業(JAファーム育苗)・宮縄(塗装)作業(一般家庭1ヶ所)・管理作業(北部住民センター)
6月	清掃作業(中央図書館・三山木駅前・野外センター)・草引き(一般家庭1ヶ所)
7月	植木剪定(草内幼稚園他2ヶ所)・草刈り(一般家庭2ヶ所)・草引き(一般家庭1ヶ所)
8月	軽作業(浄水施設1ヶ所)・植木剪定(一般家庭1ヶ所)・草引き(一般家庭2ヶ所)
9月	植木剪定(一般家庭1ヶ所)・草刈り(一般家庭1ヶ所)・草引き(浄水施設他1ヶ所)
10月	植木剪定(一般家庭3ヶ所)
11月	植木剪定(一般家庭2ヶ所)・草刈り(一般家庭1ヶ所)・草引き(一般家庭1ヶ所)

空調ベストで熱中症対策

高齢者は暑さや水分不足に関する感覚機能などが低下しており、気付かないうちに熱中症になっていくケースが多いと言われています。今年度も熱中症対策の一環として、空調ベスト購入に係る一部助成を行いました(屋外作業中心の会員対象)。16名の会員が購入されました。



ベストを着用しての作業の様子

安全就業に向かって

当センターの令和5年度の事業計画では、「安全就業」も重点項目として挙げています。今年度は、傷害事故3件、賠償事故1件発生しましたが(11月末時点では)昨年より事故件数が減少しているものの賠償額が多くなりました。今後は会員の皆さんも意識をもって「事故ゼロ」の目標を目指していただきたいと思います。

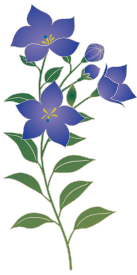
各作業現場においては、班長の指示に従い安全確認の徹底をし、傷害事故や賠償事故を発生させないよう頑張りましょ。

現在、植木剪定班・草刈班・草引き班では各班長が朝の点呼や指差し確認をし、安全確認をしてから作業をしています。

他の職場でも班長やグループ長も職場に合った安全確認をしてから作業を始めましょ。

安全適正就業担当理事

横濱 和俊



2023年11月末時点

令和5年度 賠償事故	発生日	性別	年齢	発生時刻	仕事内容	状況名	事故後の対応・今後の対策(会員の声)	賠償金額	保険適用額	会員負担額	センター負担額
	①	5.10.23	男	72	11:00	草刈班	草刈機にて草刈作業中、後ろのトラックの運転席横の窓ガラスに小石が飛んで破損した。	●修繕費一部会員負担 ●草刈作業時は刃の回転により、左後方又は後方に小石が飛ぶ可能性があるため防護ネット等を使用し養生する。	未定	未定	25,000円
令和5年度 傷害事故	発生日	性別	年齢	発生時刻	仕事内容	状況名	傷害部位・名称	事故の状況・今後の対策(会員の声)			
	①	5.7.6	男	73	13:30	家事援助班	窓拭きをしていた際、戸袋の中の蜂が飛んできて、右ひじ付近を刺された。	腕 蜂刺され	●病院にて治療済み ●作業時は戸袋の中も注意し作業をする。		
②	5.9.21	女	78	11:30	育児支援班	駐車場の車止めに躓き転倒した。	膝 骨折	●入院、通院により治療中 ●足元の注意確認を怠らず作業をする。			

